

肝機能(血液検査)③

ALT (GPT)	
意義	<ul style="list-style-type: none"> 肝細胞での障害の有無をみる逸脱酵素 多くは肝細胞に存在するためASTよりも肝障害を特異的に反映 一般的にASTとセットで測定し診断・評価も両者の値より行う
基準範囲*	5~30 U/L (JSCC標準化対応法)
異常値で疑う疾患	急性肝炎、慢性肝炎、薬剤性肝障害、脂肪肝、肝硬変、閉塞性黄疸など
服薬指導に活かせるポイントなど	<ul style="list-style-type: none"> □ ASTと異なり、赤血球への分布が少ないため溶血の影響はあまり受けない □ 透析患者では、一般的にAST、ALTが低値を示す □ 肝障害を起こす確率が高い薬剤の投与開始時には、ASTとALTの変動に注意する □ C型肝炎患者でALTが30U/L以下の場合、無症候性キャリアが多い

ALT : アラニンアミノトランスフェラーゼ
GPT : グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ